

# 有限会社 井戸畳店

ものづくり技術

## 業界最高水準の寸法精度の向上と短納期化を図る 長く続くバランスの取れた企業へ

事業  
内容

### 多様なニーズに合致する自社製品 “企業”であることに重点を置く経営

1940年(昭和15年)に白浜の地で宿泊施設などの建設に伴う畳の需要増加を見越して創業し、80年近くの業歴を有する。内装仕上げ工事に伴う新畳の製造・販売、表替え、裏返しに加え、襖や建具などの内装仕上げ工事の関連商品も手掛けている。

同社オリジナル製品としては、素材にこだわった「橋本さん家のよろこび表」や「庵」のほか、紀州備長炭入り畳「紅梅白梅」、ヘリ無し畳「和美人樹美人」、カビない汚れない畳「抗菌コート畳」、湿度の多い脱衣所や浴室向けの「ほほ

えみさん」があり、価格は1枚1万円台~数十万円するものまで幅広い商品ラインナップとなっている。販売先は、大手建設業者およびハウスメーカー、ホテル、福祉施設などの法人だけでなく、和歌山県内を中心とした一般個人にも販売されている。

畳製造業者は、個人経営が多いが、同社は畳を安定供給できる事業継続を前提とした“企業”であることに重きを置いている。その一環として、コンピューター式畳製造機を保有するなど、製造工程の自動化を着実に進めている。

補助  
事業

### 納期面、コスト面への対応が重要 精度向上が期待できる裁断機を導入

畳業界に関わる市場環境に目を向けると、住宅の洋風化が進み、戸建てに限らず、賃貸住宅や分譲マンションにおいても和室の数は減少の一途を辿っている。畳店の経営者および技能工の高齢化も進み、後継者問題を抱えている畳店も多く、廃業を余儀なくされるところも散見されるようになった。

このような市場環境の中、同社を信頼してもらい受注を獲得していくには、まず納期面、コスト面の要求に対応できる体制を作り上げることにあった。要求に見合った製品を低価格で納期通りに納め、信用を高めていくことが、企業として長く続けていくために欠かせない。

これらを実現するためには、製造工程をさらに効率化していく必要がある。具体的には、今まで職人が長年培って

きた畳製作技術に加え、より高い寸法精度で、裁断困難な素材にも対応できる生産設備が求められる。

そこで、今回の補助事業では、コンピューター式裁断・逢着機一式を導入し、高精度な製品の短納期化を目指した。



有限会社 井戸畳店 白浜店

代表取締役 井戸 宏和  
〒649-2211 西牟婁郡白浜町2512-17  
TEL: 0739-42-2412 FAX: 0739-42-2448  
URL: http://shirahama.net

(業種)畳製造業  
(設立年月)1940年4月  
(資本金)10,000千円  
(従業員)10人

成果

### 高品質の畳が短納期で対応可能に 受注量の急増も難なくこなす

新たな生産設備の導入により、従来と異なった手順になったものの、担当従業員の努力もあって比較的スムーズに新しい生産体制を構築することができた。

従来の生産方法で製造された畳は、現場で設置する際に職人技で僅かなずれを調整するなどの技術も必要であった。しかし、今回の設備導入により、寸法精度が向上したため、容易に現場で畳を設置することができるようになった。クレームとして戻ってくる可能性もより小さくなった。

また、今年(2017年)の6月・7月は、旅館のリニューアルが重なり、畳の需要が例年より増加。お盆前に畳を張り替えたいという一般個人のお客からの引き合いも相当数あり、受注量が急増した。従来の生産能力では対応できなかった受注量が、今回の補助事業で新設備を導入して生産

効率を高めていたこともあり、それら需要を全て取り込むことができた。企業としての供給責任を果たせたことが大きな成果となっている。

今後の  
展開

### 「い草」の栽培にも挑戦 バランスのとれた会社へ

今後の展開としては、自社で畳の原料となる「い草」の生産から畳の製造、販売までを一貫して行っていきたいと考えている。現在、同社では、畳の原料となる「い草」は熊本県産と中国産を使用しているが、「い草」の生産量は減少傾向にあり、全国的に見れば、中国産の「い草」の流通量が圧倒的である。中国産のものを使用すると、将来的には仕入値の変動に利益が左右される懸念もある。

そんな状況を鑑みて同社では、3年ほど前から白浜町富田地区にて「い草」の栽培を始めており、今年(2017年)は

収穫が期待できるという。和歌山県産の「い草」を使った畳を、和歌山県の消費者に手に取りやすい価格で提供していくことが目標となっている。

新たな取り組みが多く見られる同社では、それを企画する人材の確保・育成にも注力していく意向だ。新卒の採用も進め、働くことの意味や会社の仕組みなどを一緒に考える時間を作ることで、人材を育成していく計画である。

畳の製造から販売、人材育成まで、それぞれどこかに偏ることなく、バランスの取れた企業を目指していく。

